



よりもと かつみ  
寄本 勝美 氏

生年月日 昭和 15 年 4 月 9 日生

住 所 東京都東村山市

昭和 15 年（1940 年）4 月 9 日、西牟婁郡田辺町（現田辺市）に生まれる。

田辺高等学校卒業後、早稲田大学政治経済学部自治行政学科に入学、在学中にウイン国際奨学生としてアメリカ合衆国のブランダイス大学への留学を経験する。

昭和 39 年（1964 年）に早稲田大学を卒業後、同大学院政治学研究科に進学、その後、昭和 42 年（1967 年）から同大学政治経済学部助手を務め、専任講師、助教授を経て、昭和 53（1978 年）年に教授に就任。平成 6 年（1994 年）から平成 9 年（1997 年）にかけては同大学政治経済学部長を、また、平成 10 年（1998 年）からは同大学の常任理事を務めている。

専門分野は地方自治論と環境政策。中でも環境問題やゴミ問題では国内の権威として活躍している。

氏は、早稲田大学大学院に在学中、地方自治の現場にアプローチすることを計画し、川崎市清掃局で 1 カ月にわたってゴミ処理などの現場を実際に体験する。その時の体験をもとに『ゴミ戦争—地方自治体の苦悩と実験』（日経新書）を發表し、地方自治体のゴミ戦争に一石を投じる。また、昭和 58 年（1983 年）には、『現場の思想と地方自治』（学陽書房）を發刊、それにより日本都市学会奥井賞を受賞する。

一方、昭和 58 年（1983 年）からはアメリカ合衆国ピッツバーグ大学の客員教授として 1 年半にわたり同市の政治行政の総合研究に従事するとともに、その後も 2 度にわたり渡米し、同市のフォローアップ調査を続け、平成 5 年（1993 年）にその調査研究の成果を『自治の形成と市民—ピッツバーグ市政研究』（東京大学出版会）にまとめて發刊、これにより京都大学法学部から法学博士の学位を授与される。

大学において教鞭をとる傍ら、まちづくりやゴミ・リサイクル関連の市民団体、消費者団体のアドバイザーとして、あるいは自治体の審議会等の委員として幅広く活躍するほか、国レベルでは中央環境審議会、生活環境審議会、経済審議会、学術審議会等の委員を、また、学会では廃棄物学会会長、日本地方自治学会理事長などの要職を歴任し、平成 13 年（2001 年）現在は日本行政学会監事、日本環境会議の理事を務める。

平成 13 年（2001 年）現在、社会が抱える大きな課題であるゴミ問題、廃棄物問題の研究

## 第 32 回 (平成 13 年)

に長年取り組み、様々な研究成果を通して 21 世紀の循環型社会の形成に向けた指針を示すとともに、近年、大きな流れとなっている「地方分権」に関しては、時流を先導する主要な研究者の一人である。

### (略 歴)

昭和 34 年 (1959 年) 3 月	和歌山県立田辺高等学校卒業
昭和 39 年 (1964 年) 3 月	早稲田大学政治経済学部卒業
昭和 45 年 (1970 年)	同大学大学院政治学研究科博士課程修了
昭和 53 年 (1978 年)	同大学政治経済学部教授
平成 6 年 (1994 年)	同大学政治経済学部長
平成 10 年 (1998 年)	同大学常任理事

### (主要論文等)

- 『現場の思想と地方自治』 (学陽書房)
- 『自治の現場と参加』 (学陽書房)
- 『ごみとリサイクル』 (岩波新書)
- 『自治の形成と市民』 (東京大学出版会)
- 『政策の形成と市民』 (有斐閣)

### (受賞歴)

昭和 58 年 (1983 年)	日本都市学会奥井賞
平成 2 年 (1990 年)	櫻田会奨励賞
平成 12 年 (2000 年)	和歌山県文化賞